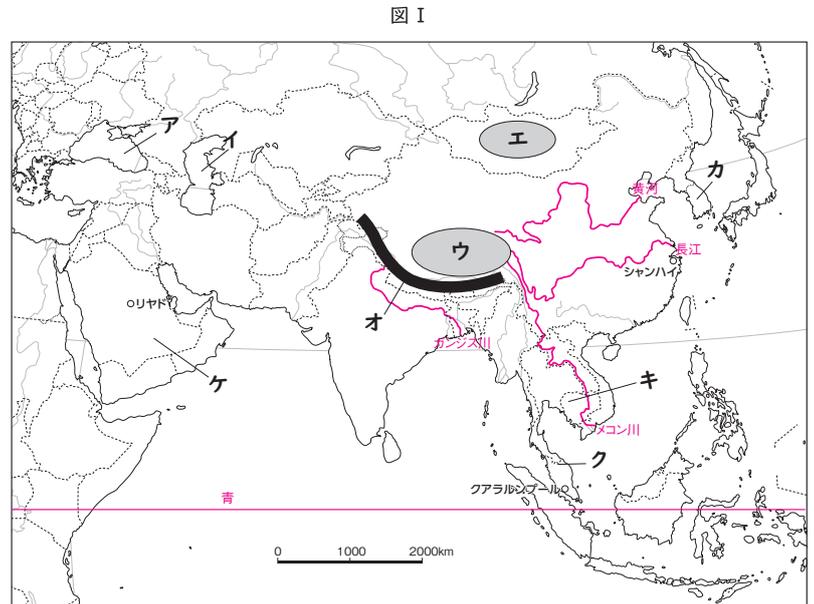


Ⅰ. ユーラシア大陸に広がるアジア

(1) 図Ⅰのア～ケの名称を記入してみよう。

ア	黒	海
イ	カスピ	海
ウ	チベット	高原
エ	モンゴル	高原
オ	ヒマラヤ	山脈
カ	朝鮮	半島
キ	インドシナ	半島
ク	マレー	半島
ケ	アラビア	半島



(2) 赤道を図Ⅰに青線で記入してみよう。



(3) アジア州は図Ⅱのように区分できますが、このとき、東アジアと南アジア・中央アジアとの境界はどのような場所にあるのか、説明してみよう。

(例) ヒマラヤ山脈やテンシャン山脈などの標高の高い山脈がある。

(4) ロシアをヨーロッパとアジアに分けるときに、その境界になっている地形の名称を答えよう。

ウラル山脈

(5) アジアには、黄河、長江、メコン川、ガンジス川などの大きな河川があります。

① 黄河、長江、メコン川、ガンジス川を、図Ⅰに赤線で記入してみよう。

② それらの河川を図Ⅱに記入し、共通点を挙げてみよう。

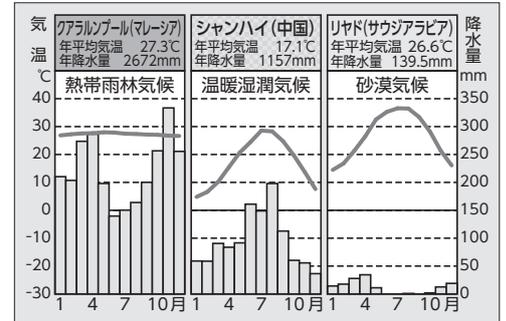
(例) ヒマラヤ山脈やチベット高原を源流として、流れ出している。

2. 季節風が育むアジアの気候

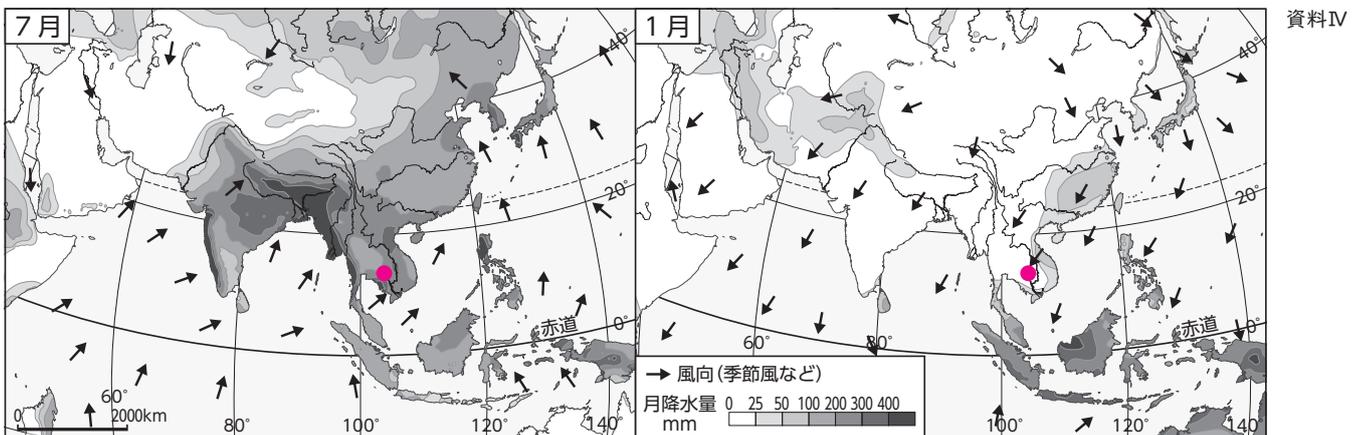
(1) 資料Ⅲの3都市の位置を図Ⅰで確認し、クアラルンプールとリヤドの気候の特色を資料Ⅲを参考に説明してみよう。

クアラルンプール	(例) 1年中気温が高く、降水量も多い。
リヤド	(例) 平均気温は高いが、クアラルンプールよりも夏と冬の気温差が大きい。降水量は年間を通じて少なく、ほとんど降らない月もある。

資料Ⅲ



(2) 資料Ⅳはアジア州の7月と1月の降水量を示した地図です。



① トンレサップ湖の位置を地図帳で確認し、資料Ⅳの7月と1月それぞれに赤丸で記入してみよう。

② 7月と1月の風向きが異なりますが、このように季節によって変化する風を何といいますか。

季節風 (モンスーン)

③ トンレサップ湖の7月と1月の景色が大きく異なる理由を説明してみよう。

(例) トンレサップ湖周辺とメコン川の流域は、季節風の影響を受け、7月の降水量は多いが、1月は雨がほとんど降らないため、湖に流れ込む水の量が季節により異なり、湖面の水位が変化するから。

本時のまとめ

◆ アジアの気候の特色について、写真4や図5を見ながら、「季節風」の語句を使って説明しよう。

(例) 島国や東アジアはおおむね温暖で湿潤だが、東南アジアや南アジアでは、季節風の影響を大きく受け、雨季と乾季で降水量が変わる。一方、西アジアや中央アジアでは、1年を通してあまり雨が降らない。